

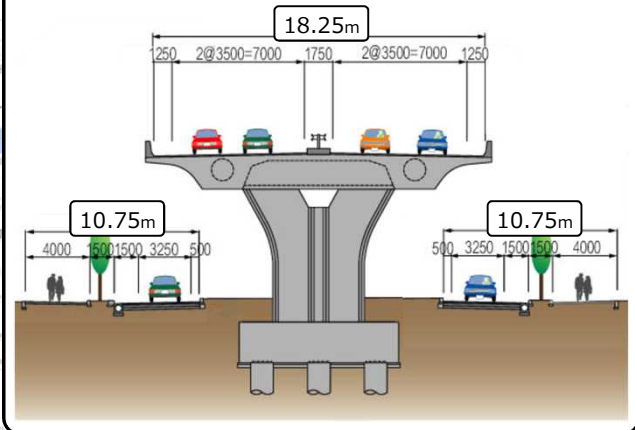
再評価【番号3】都市計画課

都市計画道路 徳島東環状線
末広住吉工区

1. 事業概要

位置図

標準断面図

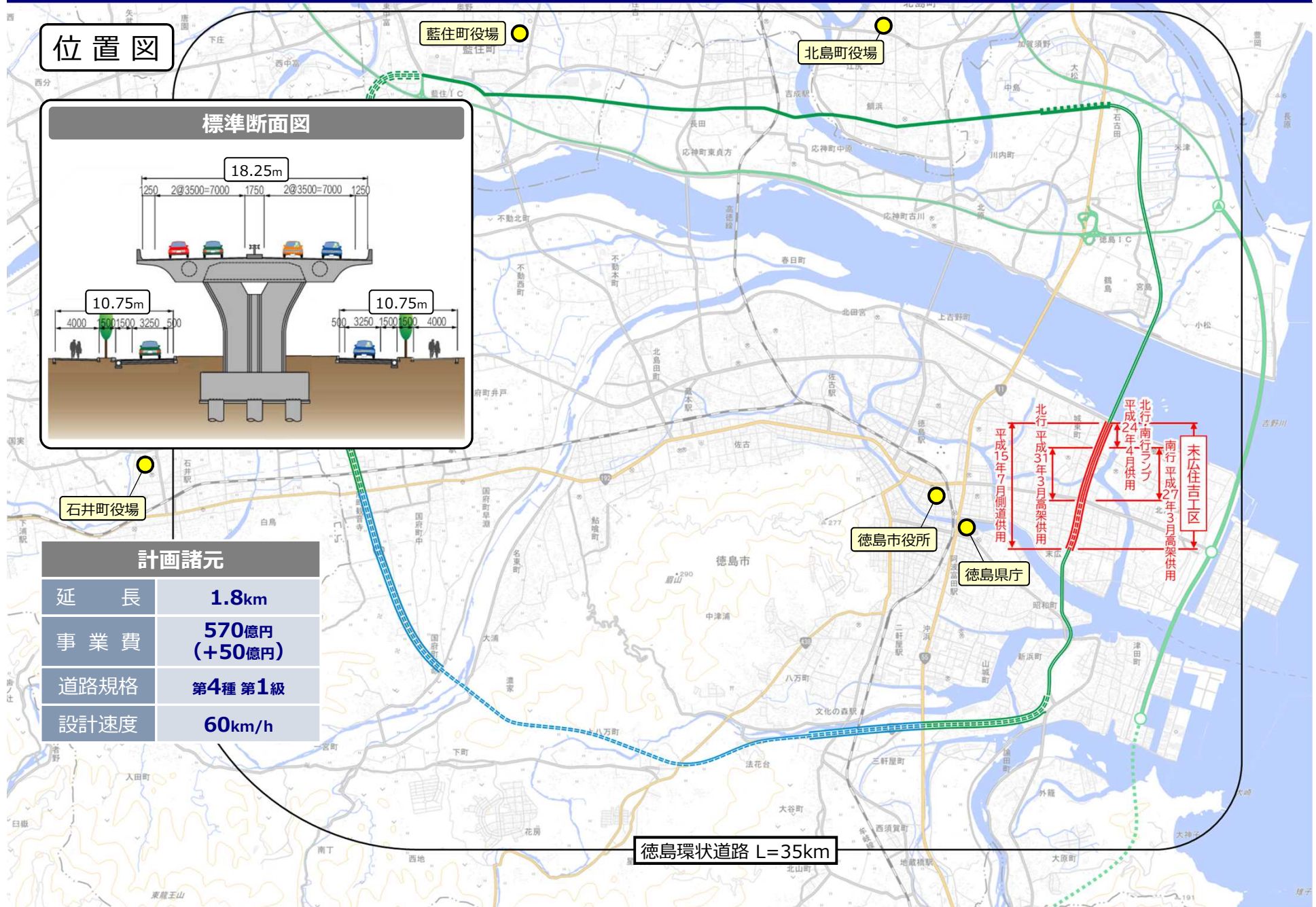


石井町役場

計画諸元

延長	1.8km
事業費	570億円 (+50億円)
道路規格	第4種 第1級
設計速度	60km/h

徳島環状道路 L=35km



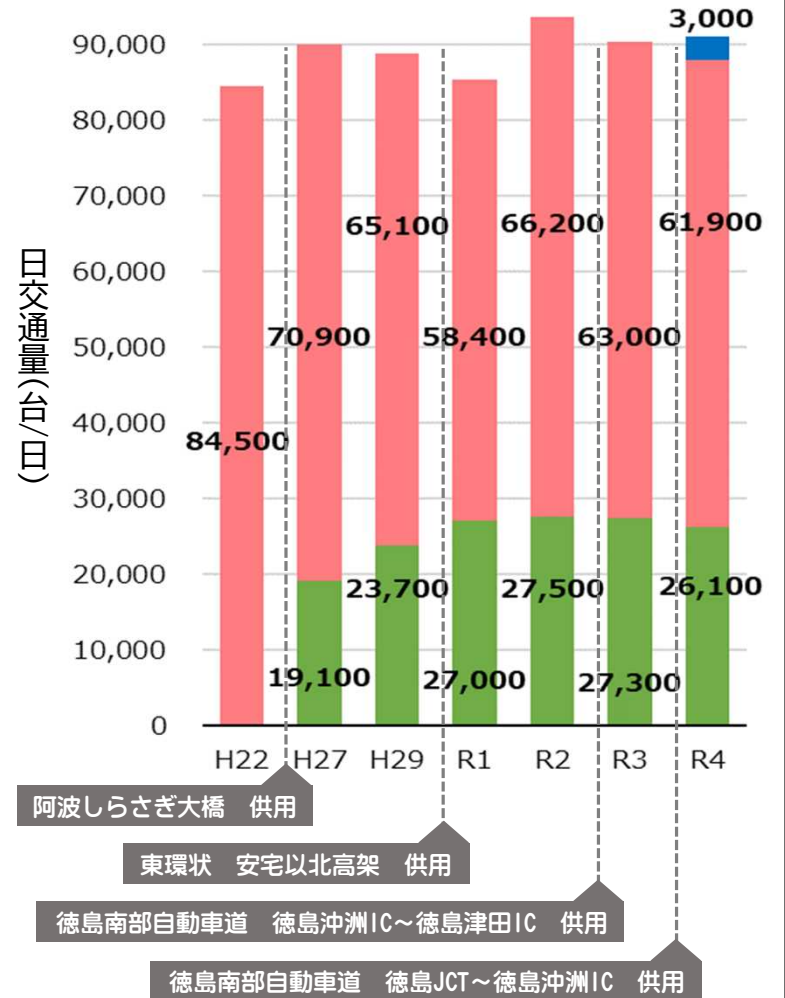
2. 道路交通上の課題

渋滞・経年的な交通量の変動



国道11号の交通量は波があるものの、徳島東環状線はH31.3に現在の供用形態になって以降、徳島南部自動車道の供用後においても、概ね27,000台/日の交通量で推移している。

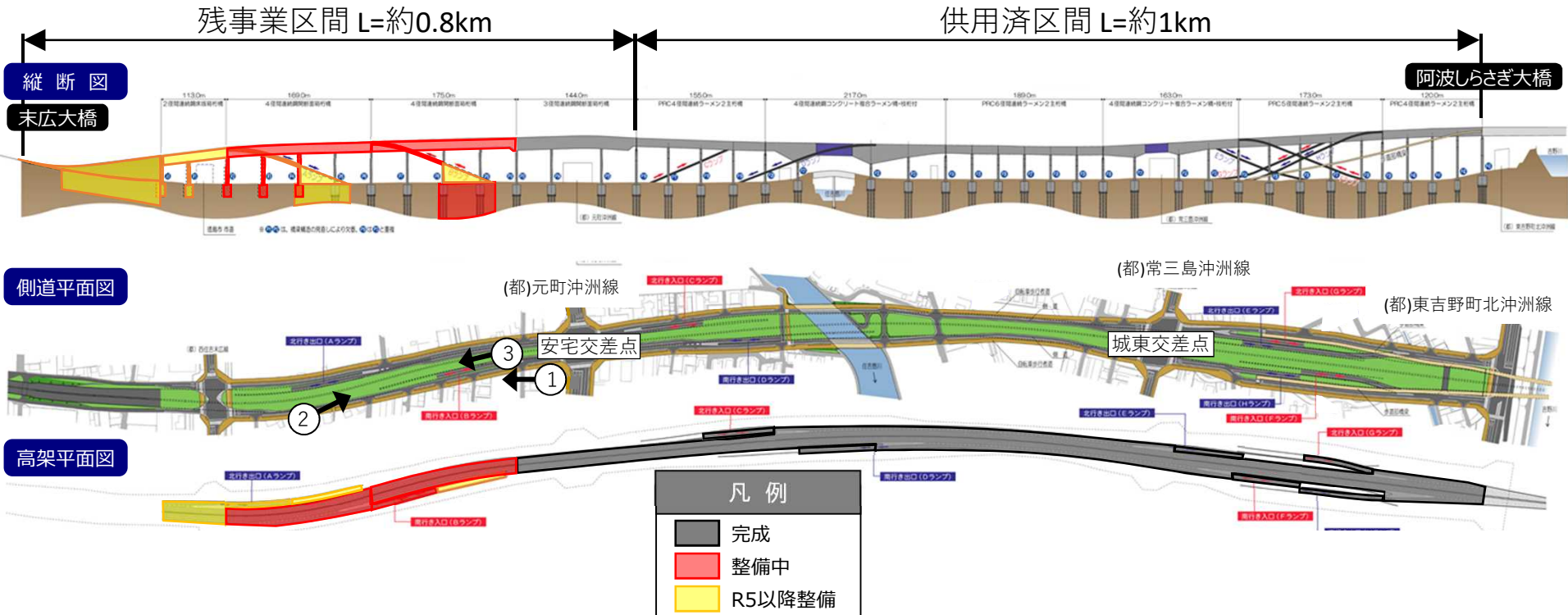
- 吉野川サンライズ大橋
- 吉野川大橋
- 阿波しらさぎ大橋



3. 事業の進捗状況

進捗率	
事業費	85%
用地	100%

施工状況写真

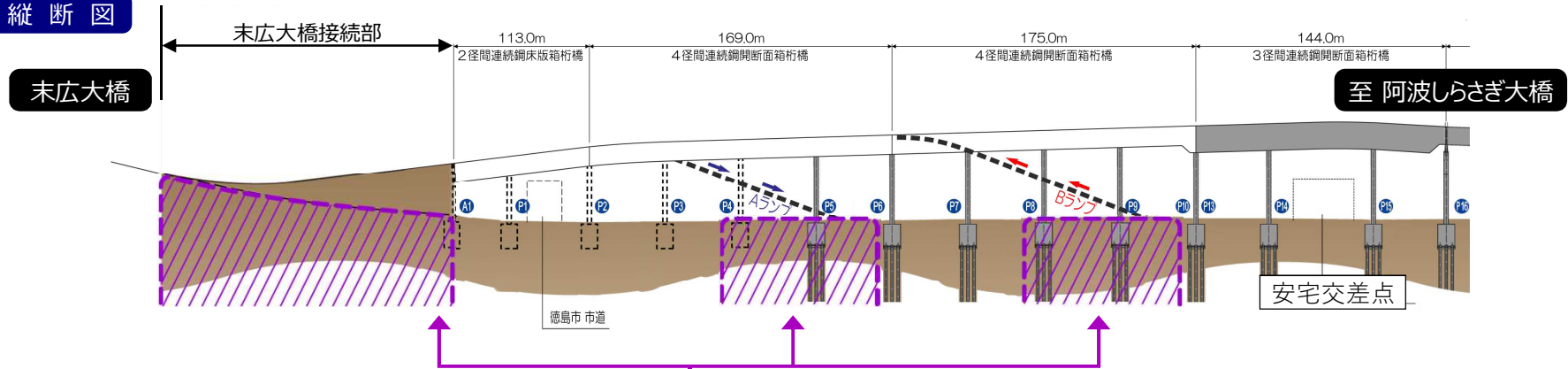


4. 前回評価時からの変更点

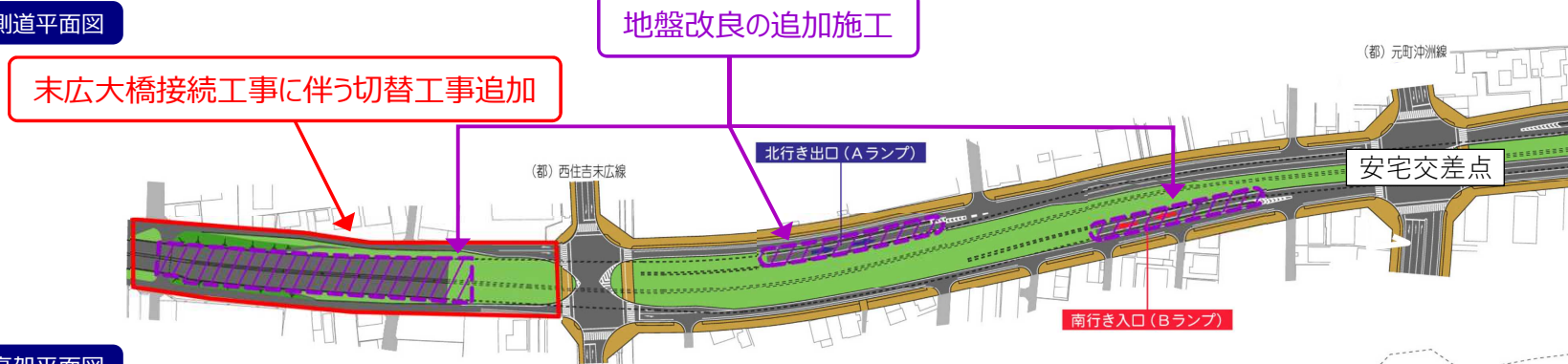
全体事業費 前回：520億円 ⇒ 今回：570億円 (+50億円)

完成時期 前回：令和6年度 ⇒ 今回：令和10年度 (+4年)

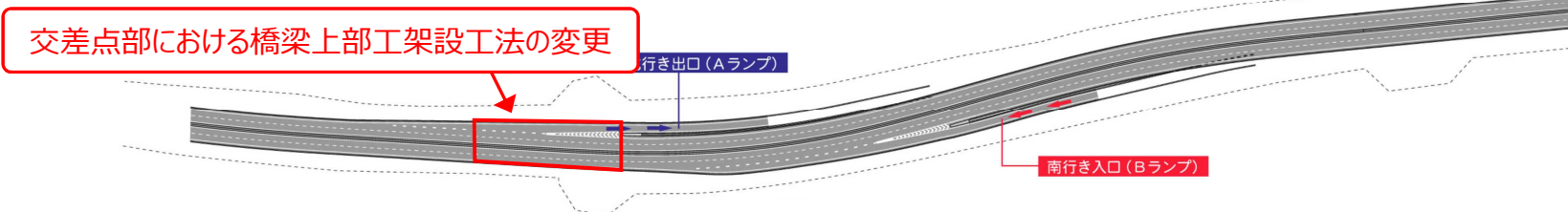
縦断図



側道平面図



高架平面図



5. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

①従来の 3便益

- ・走行時間短縮便益
- ・走行経費減少便益
- ・交通事故減少便益

計 **1,356** 億円
(現在価値化後)

②その他 の便益

- ・環境負荷低減便益 : 36.6 億円
- ・救急救命率向上便益 : 22.7 億円

計 **59.3** 億円
(現在価値化後)

費用

- ・事業費
- ・維持管理費

計 **935** 億円
(現在価値化後)

その他便益を含む **B / C = 1.5**

貨幣価値に表れない整備効果

産業 振興

■ 物流集積拠点のアクセス向上

徳島市中央卸売市場及びマリンピア沖洲といった物流集積拠点へのアクセス向上により、徳島県の産業振興を支援する。

➡ **地域産業活性化による地場産業振興**

安全 ・ 安心

■ 沿道住民の生活環境改善

中心市街地の通過交通と都市内交通を分離し自歩道を整備することにより、沿道住民の生活環境の改善が期待できるとともに、歩行者自転車の安全性が向上する。

➡ **沿道環境の改善**

防災 ・ 減災

■ 緊急輸送道路の強化

徳島東環状線は全線が第2次緊急輸送道路に指定されており、防災活動の重要拠点施設や地域医療拠点及び広域避難所等の各種拠点を連携し、災害時の復旧・支援の強化を図る。

また、浸水被害を回避できる高架構造であることから、幹線道路のリダンダンシーを確保できる。

➡ **広域な防災機能強化**


6. 道路整備による多様な効果【産業振興】




産業振興

■ 物流集積拠点のアクセス向上
 徳島市中央卸売市場及びマリニピア沖洲といった物流の集積拠点や交通結節点へのアクセス向上により徳島県の産業振興を支援する。


➡ 地域産業活性化による地場産業振興




いちご
(佐那河内村)




はも
(小松島市)




にんじん
(阿南市)



阿波尾鶏
(海陽町)



しいたけ
(小松島市)



すだち
(神山町)

県内からの集積



京阪神方面

マリニピア沖洲

オーシャンフェリー

近郊からの集積

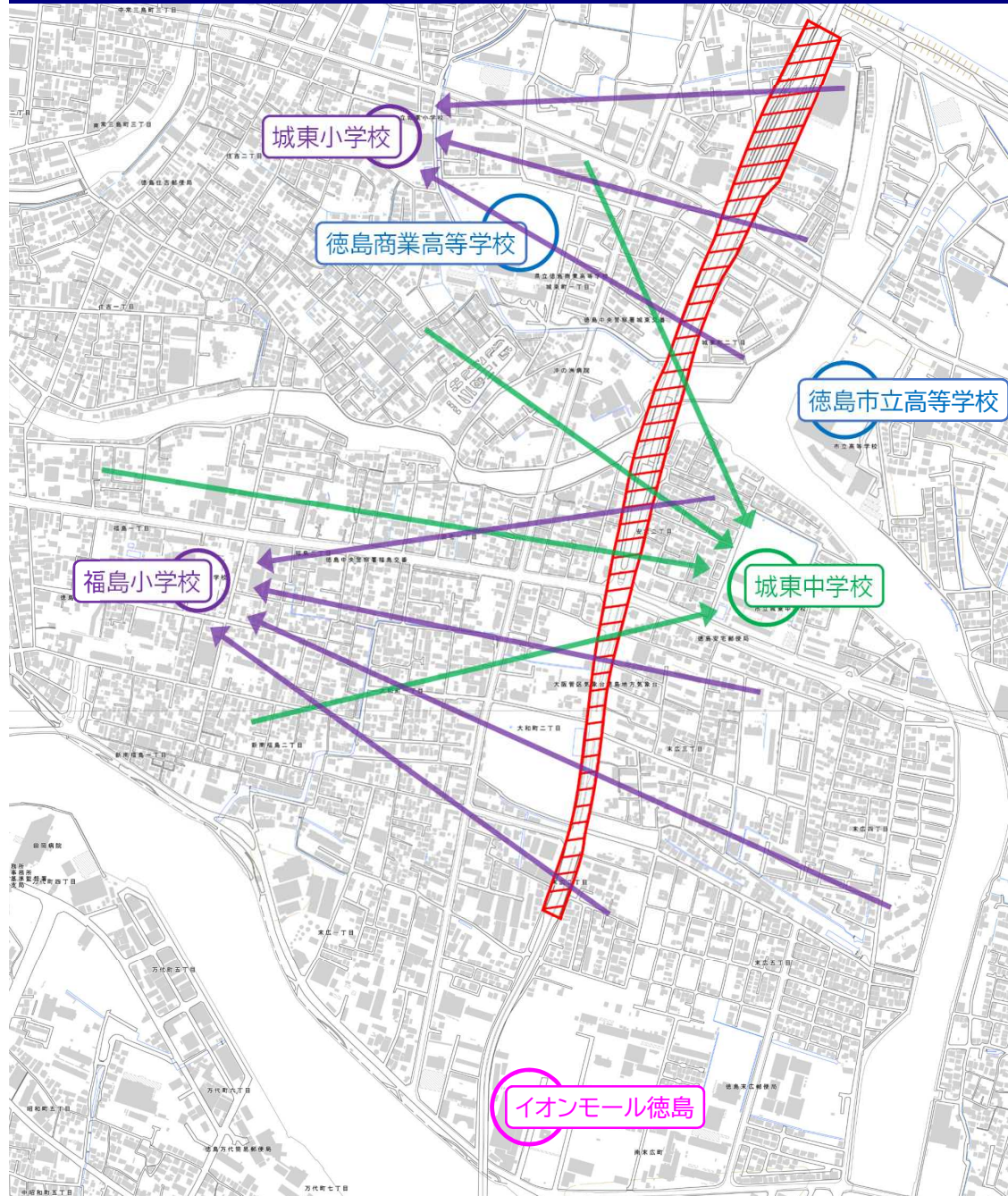
徳島市中央卸売市場

徳島市役所

徳島県庁

未広住吉工区

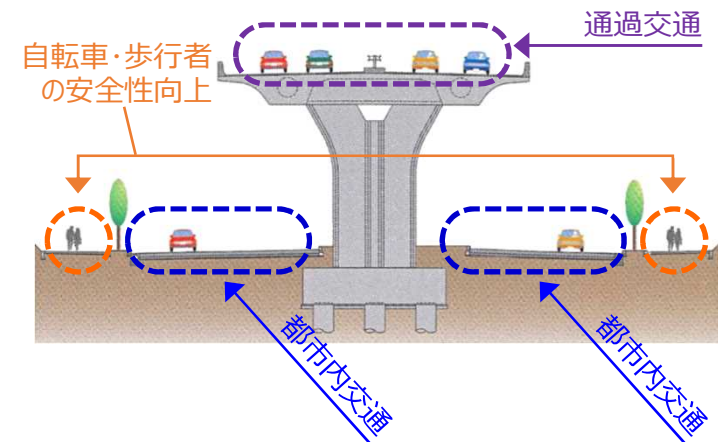
6. 道路整備による多様な効果【安全・安心】



安全・安心

■ 沿道住民の生活環境改善

対象事業は徳島市の中心市街地に位置しており、周辺には多くの教育施設や商業施設が存在している。そのため当該地の通過交通と都市内交通を分離し自歩道を整備することにより、沿道住民の生活環境の改善が期待できるとともに、歩行者自転車の安全性が向上する。

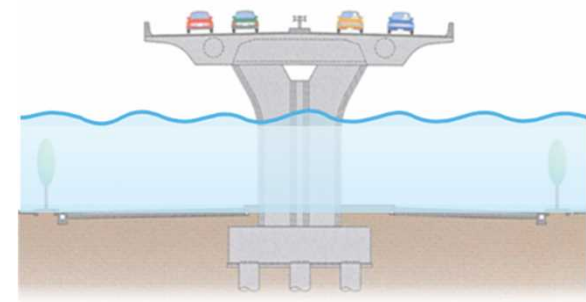


➡ 沿道環境の改善

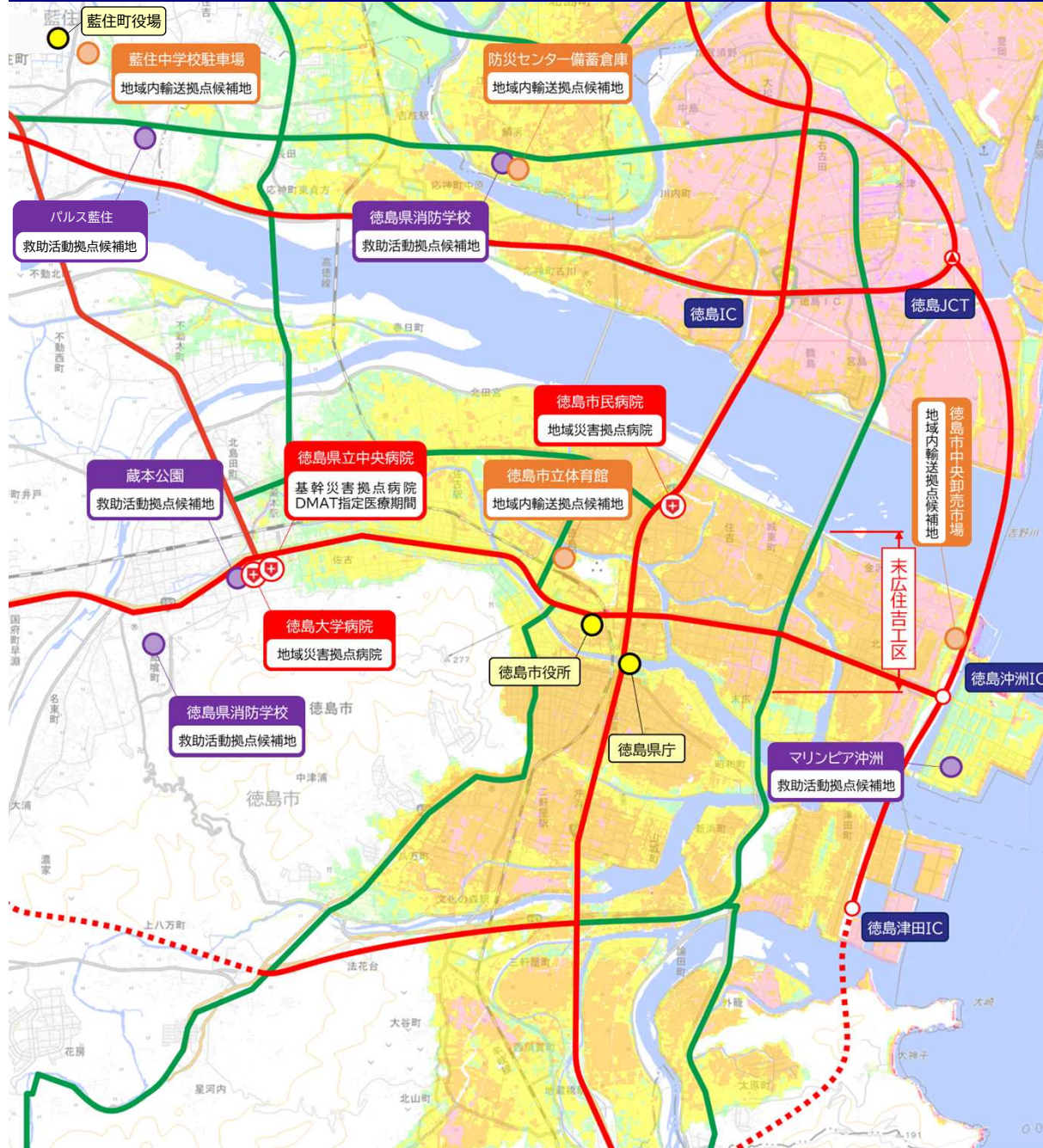
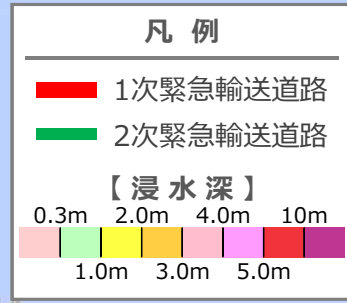
6. 道路整備による多様な効果【防災・減災】

防災・減災

■ 緊急輸送道路の強化
 徳島東環状線は全線が第2次緊急輸送道路に指定されており、防災活動の重要拠点施設や地域医療拠点及び広域避難所等の各種拠点を連携し、災害時の復旧・支援の強化を図る。
 また、浸水被害を回避できる高架構造であることから、幹線道路のリダンダンシーを確保できる。



→ 広域な防災機能強化



7. 今後の対応方針（案）

貨幣換算可能な整備効果

①従来の3便益

- ・走行時間短縮便益
 - ・走行経費減少便益
 - ・交通事故減少便益
- 計 **1,356** 億円
(現在価値化後)

②その他の便益

- ・環境負荷低減便益 : 36.6 億円
 - ・救急救命率向上便益 : 22.7 億円
- 計 **59.3** 億円
(現在価値化後)

費用

- ・事業費
 - ・維持管理費
- 計 **935** 億円
(現在価値化後)

その他便益を含む **B / C = 1.5**

貨幣価値に表れない整備効果

産業振興

■ 物流集積拠点のアクセス向上

徳島市中央卸売市場及びマリンピア沖洲といった物流集積拠点へのアクセス向上により、徳島県の産業振興を支援する。

➡ **地域産業活性化による地場産業振興**

安全・安心

■ 沿道住民の生活環境改善

中心市街地の通過交通と都市内交通を分離し自歩道を整備することにより、沿道住民の生活環境の改善が期待できるとともに、歩行者自転車の安全性が向上する。

➡ **沿道環境の改善**

防災・減災

■ 緊急輸送道路の強化

徳島東環状線は全線が第2次緊急輸送道路に指定されており、防災活動の重要拠点施設や地域医療拠点及び広域避難所等の各種拠点を連携し、災害時の復旧・支援の強化を図る。
また、浸水被害を回避できる高架構造であることから、幹線道路のリダンダンシーを確保できる。

➡ **広域な防災機能強化**

■ 今後の対応方針（案）

事業継続